

事例の種類・名称	事例の種類	事例の名称
		【事業統合】
事業規模等	給水人口 : 446,257 人 1日最大給水量 : 194,990 m ³ /日 給水面積 : 577.3 km ² 職員数 : 【直営】 50 人【第三者委託】 158 人【委託】 105 人 ※数字は、令和5年4月1日時点	
スキーム等	【運営】 第三者委託を含む水道事業運営に係る包括委託業務 (委託期間:平成29年4月1日から令和7年3月31日) 	【事業統合】 ① 3市5町による水平統合 ② 群馬県企業局の2用水供給事業との垂直統合
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○平成21年 9月 : 両毛地域水道事業者会議において広域化の議論開始 ○平成24年 7月 : 首長会議にて広域化推進の合意を得て、群馬東部水道広域研究会設立 ○平成25年10月 : 水道事業統合基本協定を締結 ○平成25年11月 : 群馬東部広域水道事業統合協議会を設立 ○平成28年 4月 : 群馬東部水道企業団として事業開始 ○平成28年12月 : 官民出資会社「(株)群馬東部水道サービス」を設立 ○令和元年 7月 : 群馬県企業局の2用水供給事業(新田山田水道、東部地域水道)との事業統合に係る基本協定を締結 ○令和 2年 4月 : みどり浄水場(旧新田山田水道浄水場)及び東部浄水場(旧東部地域水道浄水場)の運営開始 ○令和 2年 8月 : 異なる水道料金体系の統一を目的とした水道料金審議会の設置 ○令和 5年 4月 : 水道料金体系の統一、及び料金改定の実施(平均改定率15%) 	
事業統合のメリット	<水平統合> ① 災害対応、危機管理能力の向上 … 応急給水などの充実が図れた ② 中長期的な管理水準の向上 … 基本計画において全域の施設更新計画を定めることができた ③ 日常の施設管理水準の向上 … 包括業務委託により管理水準が上がった <垂直統合> ①中長期的な管理水準の向上 … より広域的な視点で施設更新計画を定めることができた	
事業統合のデメリット	①これまでの課題 … 水道料金格差の存在(料金統一実施済み) ②今後想定される課題 … 施設再構築後の基軸施設への災害時のリスク集中	
業務形態	直営を基本 … 経営・計画・管理(総務・人事・財務) 第三者委託を含む業務委託 (包括・性能発注) … 経理補助業務、水道施設関係業務補助、給水装置関係業務、浄水場維持管理業務 他	
対象業務(維持管理体制)		
浄水施設維持管理	浄水場及び関連施設維持管理業務委託(第三者委託) 委託先:(株)群馬東部水道サービス、複数年契約(8年)	